

# 取扱説明書

保管用

日立蛍光灯器具

HNP4203-MEU14

HITACHI  
Inspire the Next

適合ランプ

日立高周波点灯専用蛍光灯ランプ FHF32  
日立蛍光灯ランプ FLR40S(/36), FL40S(S/37)

このたびは日立蛍光灯器具をお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。  
この器具は電子安定器を採用しておりますので、電源周波数に関係なくご使用できます。

・素人工事は法律で禁じられております。

## ■安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

・工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

工事店様へ

施工上のご注意

### ⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

・器具の取り付けは、本体表示並びに取扱説明書に従ってください。取り付けに不備があると器具落下、感電、火災等の原因となります。

・電源線接続の際は、**③** 器具本体の取り付け**③**に従って確実に行ってください。取り付け接続が不完全な場合は、接続不良による発熱、火災、感電の原因になります。



電源線接続

・アース工事は電気設備の技術基準に従い確実に行ってください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。



アース工事



・器具を改造したり、部品を変更して使用しないでください。器具落下、感電、火災等の原因となります。



改造



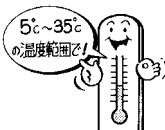
腐食性ガス

・この器具は、腐食性ガス雰囲気場所には使用できません。そのまま使用しますと、変質、変色、絶縁不良、器具落下の原因となります。

### ⚠ 注意

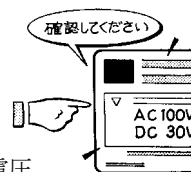
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合、および物的損害の発生が想定される内容を示します。

・この器具は屋内で、5℃～35℃の範囲で使用するように設計してあります。高温で使用しますと火災の原因となります。屋外や湿気、水気のある場所で使用しますと、湿気の侵入による絶縁不良、感電の原因になります。



温度屋外

・器具に表示された電源電圧(定格電圧±6%以内)以外の電圧でご使用しないでください。間違って使用しますとランプ、安定器などの短寿命、火災の原因となります。(器具の定格電圧と電源電圧は器具を取付ける前に必ず確認してください。)



電源電圧

・お客さまはお読みになったあとも必ず保管してください。

お客様へ

使用上のご注意

### ⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

・ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。



電源を切って

・ランプや器具を布や紙などの可燃物で覆ったり、被せたり、燃えやすい物を近づけたりしないでください。火災の原因となります。



可燃物

・ランプの端部が黒ずんだり、暗くなった時は、早めに交換してください。ランプ交換の際は、必ず本体表示並びに取扱説明書通りの種類・ワット(W)数の適合ランプをご使用ください。間違った種類・ワット(W)数のランプを使用した場合は、過熱により器具が変形、変色したり火災の原因となります。  
・センサなどと組合わせて点滅回数が多くなる場合はHfランプ、FLRランプのご使用をお勧めします。  
・また、FLランプはHfランプに比べて点滅寿命が短くなります。  
・電源を入れた状態でランプ交換を行うと、ランプが点灯しない場合があります。



FHF32  
FLR40S(/36)  
FL40S(S/37)



適合ランプ

### ⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合、および物的損害の発生が想定される内容を示します。

・器具を清掃する際は、乾いたやわらかい布か、水で湿したやわらかい布をよく絞ってから拭いてください。

・器具を清掃する際は、ソケット等の樹脂部には、水、洗剤、薬品などは使用しないでください。部品の劣化や感電の原因になります。

・ランプを清掃する際はランプを器具から外して乾いた布で拭いてください。

・照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換をおすすめします。

※使用条件は周囲温度30℃、年間3000時間点灯です。周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。

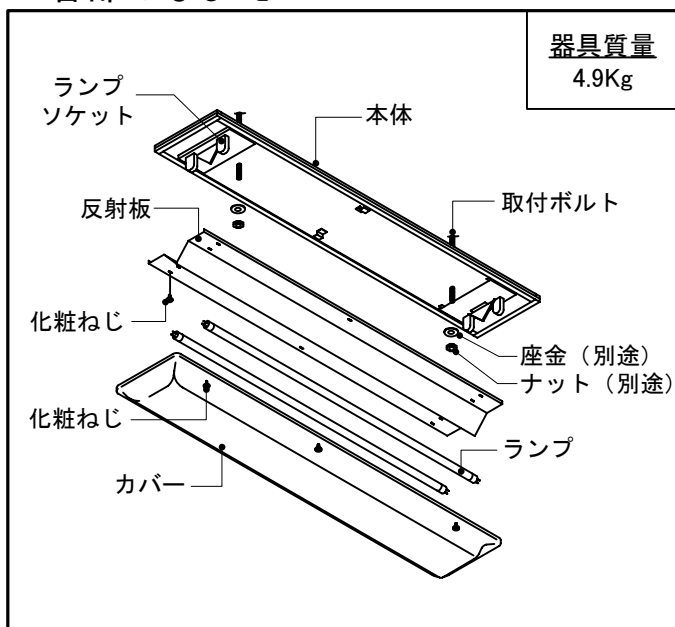
・1年に1回は「安全チェックシート」により自主点検、および3～5年に1回は工事店等の専門家による点検を実施してください。(「安全チェックシート」は弊社ホームページに掲載しております。)

・点検せずに長時間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。

### ⚠ お願い

・ラジオ、ワイヤレス方式の機器は、なるべく照明器具から離してご使用ください。雑音が入る場合があります。  
・間引き点灯の場合は、分岐回路をもうけ、そのスイッチで消灯してください。

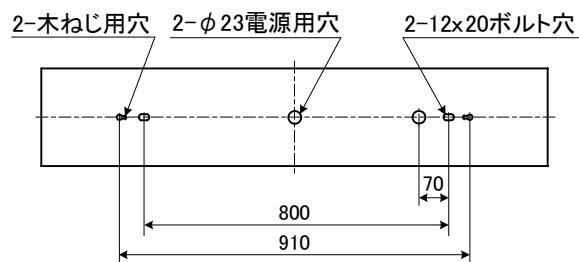
## ■各部のなまえ



## ■器具の取り付けかた

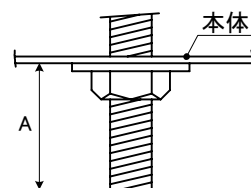
### 1 器具の取り付け寸法

(単位:mm)



### 2 取付ボルトの器具内寸法

A寸法は、30mmを超えないようにしてください。



### 3 器具本体の取り付け

- ① 本体を取付ボルトまたは木ねじで確実に取り付けてください。  
・取付けボルトは**W3/8**または**M10**を使用し座金を必ず入れてください。  
・木ねじは丸木ねじの呼び4.1を使用してください。

不備がありますと、器具落下の原因となります。

- ② アース線は**D種**接地工事を行なってください。
- ③ 電源線、アース線を端子台に確実に差し込んでください。  
解除する場合は、必ず解除ボタンをドライバーで押し込んで線を引き抜いてください。

差し込みが不完全な場合、接触不良による発熱、火災、感電の原因となります。

端子台の容量は**20A**です。

容量を超えると発熱、火災の原因になります。

- ④ 電源線、アース線の差し込み後、反射板に当たらないように処理してください。
- ⑤ 反射板を化粧ねじで、本体に確実に取り付けてください。

不備がありますと、落下の原因となります。

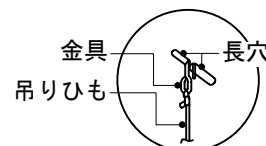
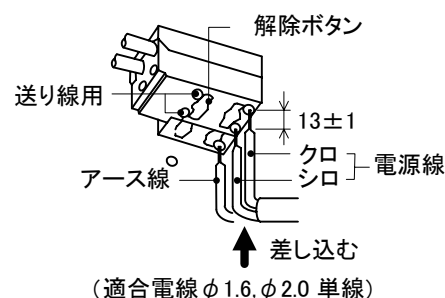
- ⑥ ランプの口金ピンをソケットに差し込んだ後**90°** 回転させ、ランプを確実に取り付けてください。

### 4 カバーの取り付けかた・はずしかた

- ① カバーに取り付いている吊りひもの先端の金具を本体の長穴に引っ掛けてカバーを本体に吊り下げてください。  
金具は、はずれないようにペンチなどで曲げてください。
- ② カバーを押し上げて本体に密着させてください。
- ③ カバーに仮止めされている化粧ねじで本体に確実に取り付けてください。

不備がありますと、器具落下の原因となります。

※ ランプ交換のときは「カバーの取り付けかた」と逆の順序で取りはずしを行ってください。



アフターサービス・・・ご使用中、もし器具に異常が生じた場合は、直ちに使用を中止し、電源を切って、電気工事店または下記のところに、器具の形式・故障状況を連絡のうえ修理を依頼してください。